

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

以下、本文-----

小児腹膜透析患者の食事調査による栄養摂取量の評価に関する研究

1. 研究の対象

2022年1月から12月にPET検査目的で入院した当院で腹膜透析を行っている1歳～17歳のCKD患者

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究目的>

小児における適切な栄養状態とは、適切な種類と量の食事を摂取し正常な成長が保たれている状態であり、小児腹膜透析患者において低栄養は成長や神経発達に重大な影響を及ぼす。KDOQIガイドライン(米国腎臓財団提唱の腎臓病予後改善対策のガイドライン)では透析患者を含むすべての慢性腎臓病(CKD)患者の栄養摂取量を定期的に評価することが推奨されている。当院では半年に1回、腹膜透析患者の腹膜平衡試験(PET)の入院時に病院給食での喫食調査を行っているが自宅とは環境や食事内容も異なり普段の栄養摂取量の評価は出来ていない。今回の研究は当院に通院している腹膜透析患者の自宅での食事内容及び栄養摂取量を評価することを目的とする。得られた結果は今後の指導に反映させることができる。

<研究期間>

倫理委員会承認後～2022年12月

<方法>

2022年1月から12月にPET検査目的で入院した腹膜透析患者に対し、食事調査を依頼して三日間の食事記録法(食事記録用紙記入及び写真撮影)により食品成分表を用いて栄養素摂取量を算出する。栄養素摂取量の評価は日本人の食事摂取基準2020版を参考とし、たんぱく質は腹膜透析ガイドライン2019を用いる。

評価項目は栄養素摂取量(エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食物繊維、ビタミンA、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンK、ビタミンB1、ビタミンB2、ナイアシン、ビタミンB6、ビタミンB12、葉酸、パントテン酸、ビオチン、ビタミンC、亜鉛、銅、鉄、ヨウ素、セレン、食塩相当量、水分摂取量)、透析液からの糖吸収、身長、体重(DW)、成長速度(標準身長体重曲線)、生化学検査値(総蛋白質、アルブミン、クレアチニン、尿素窒素、中性脂肪、総コレステロール、ヘモグロビン、カリウム、リン)とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、氏名、生年月日、病歴、家族歴、就学状況、栄養素摂取状況

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 経営企画課企画経営グループ 担当者名 小畑 奈津江

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：あいち小児保健医療総合センター 経営企画課 小畑奈津江

公開日 2021年 12月 11日

-----以上